

SAGA
1868 2018

その時、日本は佐賀を見ていた。
佐賀は世界を見ていた。

激動の時代を生きた 佐賀に縁ある 女たち



石井筆子・鐘ヶ江録子・江木欣々
クーデンホーフ光子・黒田チカ・大橋リュフ・日下部米鶴

3月17日～10月21日
月・土・日・祝日の10:00～17:00
佐賀市柳町9-8

入場無料

南里邸

Facebookもチェック



激動の時代を生きた 佐賀に縁ある女たち

幕末から明治生まれの佐賀に縁のある女性の中で、次の 7 人を選び紹介します。

鐘ヶ江録子・・・雙葉学園の創設に寄与

嘉永 5 (1852) 年～昭和 15 (1940) 年
夫鐘ヶ江晴朝は佐賀出身の医者。

石井筆子・・・教育と福祉に捧げた鹿鳴館の華

文久元 (1861) 年～昭和 19 (1944) 年
夫石井亮一は佐賀藩出身の社会事業家。

クーデンホーフ光子・・・黒い瞳の伯爵夫人

明治 7 (1874) 年～昭和 16 (1941) 年
父青山喜八は佐賀藩出身で、東京の骨董商。

江木欣々・・・多彩な才能でスター的存在

明治 10 (1877) 年～昭和 5 (1930) 年
父関新平は佐賀藩出身で愛媛県知事。

日下部米鶴・・・愛に満ちた外交官婦人

明治 15 (1882) 年～昭和 31 (1956) 年
父江副廉蔵は佐賀藩出身の実業家。

黒田チカ・・・理系女子のシンボル

明治 17 (1884) 年～昭和 43 (1968) 年
佐賀市松原町生まれ。父は旧佐賀藩士黒田平八。

大橋リュフ・・・米、独、日で医者をした医学博士

明治 32 (1899) 年～平成 8 (1996) 年
佐賀県太良町生まれ。父吉原真隆は僧侶。

佐賀に縁ある女たちの生没グラフ

